

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全 防災 <input checked="" type="radio"/> 環境 コスト ICT 品質 （該当する分類に○を付けてください）		
技術名称	まちづくりの夢・アイデアの紹介と支援策	担当部署	広報委員会・夢アイデア企画部会
NETIS登録番号	—	担当者	北岡 大記
社名等	建設コンサルタンツ協会九州支部	電話番号	092-434-4340(担当者会社092-471-0217)
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>専門技術者集団の社会貢献事業として、一般の方が日頃考えておられる「まちづくり・地域づくりへの夢・アイデア」を集め、その実現を支援し、地域・まちを元気付けるために開始したものである。第1回は2003年、これまで約510編のアイデアが寄せられている。2005年からは、応募者の交流を目指す「夢・アイデア交流会」や「調査団派遣事業」等も開始している。また、2008年より、夢アイデアに基づいた実現化プロジェクトとして「九州郷づくり共助ネットワーク研究会活動」、2009年より「島原半島ヤギ・羊大作戦」も開始している。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>①夢・アイデアの募集と表彰: 本事業の核であり、文章、イラスト等様式は自由で応募して頂いている。2008年からは電話等で応募者をサポートする体制も開始。学識者等で構成される審査委員会で作品を審査。最優秀賞、優秀賞、佳作を選定、表彰している。今年も募集中。</p> <p>②夢・アイデア交流会: 発案者にプレゼンテーションを行ってもらい、その場に、一般の方、他の発案者、関係者が一同に会し、夢・アイデアに関する交流・発展の場の形成を目指している。</p> <p>③実現化プロジェクト実行: 寄せられた多くの夢アイデアの中から、現在、「九州郷づくり共助ネットワーク研究会活動」、「島原半島ヤギ・羊大作戦」を開始している。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>2006年の本事業へ寄せられた「人口が減る時代のまちのかたち」のアイデアに基づいて、2008年に「九州郷づくり共助ネットワーク研究会」を発足させ、先進事例の訪問調査や「大野川流域ネットワーク」との交流・連携活動を開始し、「柴北川を愛する会との協働」を実現させた。また、2008年の「ヤギ・羊ECO大作戦から見えてきたもの」に基づいて「島原半島ヤギ・羊大作戦」を開始している。これらにより、より直接的に建設技術者のシーズと社会のニーズのマッチングの実現が進行中である。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>まちづくりと題しているが、まちづくりの他、河川、道路、鉄道、公園等の様々な施設に関するもの、また、子育て、暮らし方、ゴールデンチケット等のソフト面のアイデア策も多く。様々なヒントが幅広く活用できる。</p> <p>協会は、これらの作品概要集等を製本しており、協会を通じて誰でも入手することができる。また、入賞作品等については、支部のホームページでも紹介している。さらに、実現化プロジェクトでの経験は、今後の建設技術者の在り方へも通じていると考えている。</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 0 件（九州 0件、九州以外 0件） 自治体 0 件（九州 0件、九州以外 0件） 民間 0 件（九州 0件、九州以外 0件）</p> <p>夢アイデアの具体的な活用実績は、以下の3件であり、拡大可能性を模索中である。</p> <p>①九州郷づくり共助ネットワーク研究会の活動(2009年は、柴北川を愛する会との協働を実現) ②島原半島ヤギ・羊大作戦の展開 ③思い出NAVIプロジェクト(昔の街の風景を見て、街を身近に感じたい)実現活動中</p> <p>なお、募集・審査等の全般的取組手法については、協会本部、各支部へも情報発信中である。</p>		

アイデアを
考えているとき、
まちのことを
考えている。

第11回応募作品より「まちのコピー」

9月30日
締切

第12回まちづくりに関する提案 夢アイデアの募集

最優秀賞10万円
優秀賞3万円 佳作1万円

夢アイデア各地で展開中!!

詳しくはWebへ

夢アイデア

検索



第6回応募作品より
「ヤギ・羊ECOプロジェクト」



複数作品より「子育て環境を考える会」



第7回応募作品より「夕陽風景時計」
第4回応募作品より「九州圏づくり共創ネットワーク研究会」



【主催】：(一社) 建設コンサルタンツ協会九州支部

【後援】：国土交通省九州地方整備局、(公社) 日本技術士会九州本部 【協賛】：(一社) 九州地域づくり協会、(一社) 建設コンサルタンツ協会